

事業所名

み・らいずスクール

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

15 日

法人（事業所）理念		「人と関わる楽しさを」をコンセプトに、集団の中で共感し、認め合い、社会の一員として役割を持って生きていけることを支援します。			
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつや掃除、友だちとの関わり方、意思の表現方法など、集団活動に必要なソーシャルスキルの獲得を目指すプログラムを提供します。進路や将来を決める際には、自分の興味や関心の対象を知り、自ら選択して行動するための支援を行います。</li> <li>・人との関わり方を学べるように、5名程度のグループクラス制を取り入れて、子ども同士が自然に関わるように、高い専門性を持ったスタッフがサポートします。</li> <li>・子どもの成長や個性に合わせて目標を見極めたプログラムを作成し、個人へのアプローチと集団活動での支援を組み合わせ、みんなで楽しく挑戦していく経験を重ねます。</li> <li>・子どもにも保護者の方にも、安心して通っていただくために、常に笑顔でお迎えし、プログラムに集中しつつ心地よく過ごせる環境づくりを目指します。さらに、保育・教育・心理・福祉の専門家が保護者の悩みにお応えし、園や学校との連携も行います。</li> </ul>			
営業時間		平日 14 時 00 分から 20 時 00 分まで 土曜日 10 時 00 分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	自身の特性や体調、健康状態を把握し、心身ともに健康に保つことができるよう支援します。健康状態や調子の確認とそれに合わせて柔軟に必要な対応を行います。身の回りの清潔や時間管理、空間の環境整備を行います。			
	運動・感覚	プログラムを通して、視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるよう支援します。感覚や認知の特性をふまえて、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持の力をつけられるよう支援します。			
	認知・行動	認知の特性をふまえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援します。認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行います。自分の得意・不得意を知り、気持ちの整理の仕方や対処法を学べるよう支援します。			
	言語コミュニケーション	話し言葉や文字、記号を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を用いて気持ちを表出する支援を行います。プログラムや集団遊び、自由時間を通して、他者と円滑にコミュニケーションが取れるスキルを身につけられるよう支援します。困った時や手伝ってほしい時などの援助要求や自らの思いを発信する方法を学べるよう支援します。			
	人間関係社会性	自分のできることでできないこと等、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援します。集団に参加するための手順やルールを理解して、遊びや集団活動に参加できるよう支援します。集団生活の中での周囲の人との距離感や関係性を理解し、集団内での役割や貢献感、他者信頼を持てるよう支援します。			
家族支援		定期的に保護者との面談を設け、療育での様子を伝えるとともに家庭での様子を確認し、情報共有を行うことで、親子関係や家庭生活を安定・充実させるよう支援していきます。	移行支援	ライフステージに応じた進路選択に向けて、本人・保護者の意向を確認しながら支援を行います。事業所以外の学校や支援先とも連携して、地域社会への参加を目指します。	
地域支援・地域連携		地域の関係機関と情報共有、情報交換を行い、役割分担をしながら他機関とも連携して支援を行っていきます。	職員の質の向上	月1回の支援者研修と新人研修等各年代に合わせた研修、法人・事業部での講師を招いてのセミナー等を年間通して行っています。また、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、公認心理士や教員免許所持者等を配置し、お互いに学び合い、多角的に支援する体制を作っています。	
主な行事等		月に1回程度、季節に合わせたイベント（特別療育）を行っています。普段のクラスとは違うメンバーとルールや約束を守り、楽しく過ごすことを目的にしています。また、年4回は法人全体のイベントに参加し、普段できないことにチャレンジしたり、親子で楽しむ機会を提供しています。			